

☆2020年東京オリンピック・パラリンピック招致に成功

日本国民が挙って喜びと希望に浸っています。3兆円から00兆円の経済効果とかもてはやされています。歯科界も恩恵に預かりたいものです。一方国の借金、社会福祉は膨張の一途を辿り、こっちの経済はどうなるのでしょうか？ 外交問題も急を告げている気がします。加えて来年4月からの消費税8%と更に翌年から10%にそれぞれUPの方向のようですが、国民はどのように吸収するのでしょうか、歯科界にとっては対岸の火災視するわけにはいかないと感じるのですが？ 何とか良い方向付けが欲しいと願っております。今回は一寸場違いなことを申し述べましたが、後段のことは戯言であって欲しいものです。

営業部 長谷川高弘

いつも有り難うございます。今アベノミクスと言われています。先生方は、いかがでしょうか、しかしこればかりには頼ってられないのが現状だと思います。ところで、MBのメタルが高騰している現在、ジルコニアがよく使われています。

当社では、ステインなしのCAD/CAMを生かした、低価格でお届けさせて頂いております。この機会に是非よろしくお願ひします。必ず先生方にもメリットのある歯冠修復物だと思います。

技工士 松浦志樹 義歯の不適合の一つに

装着時に調整の少ない補綴物を製作するに当り、咬合採得時による

体位、姿勢などにも要因も考えられますが、咬合採得材について、製作の立場で日頃思っていますのは、WAXバイトの場合ですと軟らかいWAXですと正確さに欠ける感じがします。適当な軟らかさによっては模型を安定して咬合器に装着できます。シリコンラバー系材料は硬化前では流動性高く精密な印型がえられます。硬化後は変形も少ないのですが、弾性の問題で模型を噛みあわせて、安定させよいうとするのですが、押し戻される傾向があり、正常な位置に戻りにくい傾向があります。ユージノール系は脆いために扱いが非常に困難です。何はともあれ上下顎模型の位置が安定した位置にあること肝要です。そして正確な咬合位や 𪗗合位での咬合採得がされることが必要です。

技工士 原 謙一郎

いつもお世話になります。

2020年オリンピックも東京誘致に決定し、アベノミクスによる景気回復策も少しずつではありますが、効果を挙げてきているのではないのでしょうか。

弊社でも先月、今月とメタルボンドやアタッチメント・ノンクラスプなど自費の関係が昨年同月より上回り、大変うれしく思っておりますまた自費に関しては、お見積もりからさせて頂いておりますので、その際は是非弊社の営業にご用命ください。



営業部 井上雅博 コーヌスクラウン

コーヌスクラウンは数歯の残存歯や数歯の欠損に対応しています。コーヌス角の調整による摩擦抵抗により維持力を発揮する構造になっております。その機能を利用したデンチャーです。クラスプを用いず、ブリッジと同様の咬合感が得られます。また審美的にも評価を頂いております症例によりご採用頂きたいと思っております。



ジルコニアのブリッジ



クラスプの見えないスイングウェッジ



イオンコーティングブリッジ

株式会社 オー・プラン・ラボラトリー

〒661-0022 兵庫県尼崎市尾浜町1丁目29-13

TEL:06-6426-5291 FAX:06-6426-5292

E-Mail:webmaster@opl.co.jp URL: http://www.opl.co.jp

ご意見やご質問は、webmaster@opl.co.jp(電子メール)までお願い致します。

□今後FAX不要の場合はお手数ですがFAX番号 \_\_\_\_\_ 記載の上、返信願ひします。